

2021年7月13日
NTTコミュニケーションズ株式会社
NTTセキュリティ株式会社

NTT、米 IDC 社「IDC MarketScape: Asia/Pacific Cloud Security Services 2021 Vendor Assessment」レポートにおいてリーダーの評価

米国 IDC 社が 2021 年 6 月に発行した、アジア太平洋地域でクラウドセキュリティサービスを提供する 13 の事業者を対象とした評価レポート「IDC MarketScape: Asia/Pacific Cloud Security Services 2021 Vendor Assessment (Doc #AP47097721 , June 2021)」^{※1}において、NTT は日本企業では唯一、最も高い評価であるリーダーのポジションに位置付けられました。

NTT グループにおいて、NTT コミュニケーションズ株式会社(以下 NTT Com)は、「WideAngle」をはじめとしたさまざまなセキュリティサービスを、NTT Ltd.や NTT セキュリティ株式会社と共にアジア太平洋地域を含む全世界に提供しています。

企業のミッションクリティカルな業務へのクラウドの活用が進む中、クラウドセキュリティ対策は企業全体のリスクマネジメントとして重要視されています。このような市場環境において、お客さまのセキュアなデジタルトランスフォーメーション(DX)の実現にむけた、NTT のグローバルレベルでのグループ連携によるクラウドセキュリティへの取り組みが評価されました。

IDC MarketScape は、以下の点を主要な強みとして挙げています。

- ・ NTT の広範なサービスポートフォリオへのセキュリティの提供
- ・ お客さまのクラウド環境における潜在的な脅威を検知する NTT 独自のツールの提供
- ・ NTT のクラウドおよびセキュリティの専門知識、実行力へのお客さまの高い評価

デジタルトランスフォーメーションの進展により IT の重要性が増す中、クラウドとオンプレミス、リモートワークを含む IT 環境はますます複雑化し、サイバーセキュリティ対策はサステナブルな企業運営における重要なリスクマネジメント課題とされています。

NTT Com は事業ビジョン「Re-connect XTM」^{※2}の下、NTT グループが有する 2,000 名のセキュリティ専門家と共に、お客さまが安心してデータを利活用いただける「Smart Data Platform」^{※3}の提供を通じ、お客さまの DX や Smart World の実現による社会的課題の解決に貢献していきます。

※1 : IDC 「IDC MarketScape: Asia/Pacific Cloud Security Services 2021 Vendor Assessment (Doc #AP47097721 , June 2021)」2021 年 6 月、レポートは[こちら](#)からご覧ください。

IDC MarketScape は、特定の市場における ICT ベンダーの競合状況を一覧できるように設計されたベンダー分析モデルです。このリサーチ方法論は、定性的かつ定量的な尺度に基づく厳密な採点

法を用いており、市場に参加しているベンダーが、それぞれどのようなポジションを占めているかを分かりやすく一つの図に表すことができます。「ケイパビリティ」はベンダーの製品、市場への展開、短期間の事業戦略遂行の能力を示しており、「戦略」は3～5年間におけるベンダー戦略と顧客ニーズとの整合性を示しています。ベンダーの市場シェアはアイコンの大きさと表現されています。

※2：NTT Com は、事業ビジョン「Re-connect X™」にもとづき、生活者・ビジネス・社会を、安心・安全かつ柔軟に「新たな価値でつなぎなおす」ICT サービス・ソリューションを提供し、ニューノーマルの世界におけるサステナブルな未来の実現に貢献していきます。

Re-connect X

<https://www.ntt.com/about-us/re-connectx.html>

※3：データ利活用に必要な収集・蓄積・管理分析におけるすべての機能を、ICT インフラも含めてワンストップで提供し、データ利活用による DX 実現を加速させるプラットフォームです。詳しくは下記 Web サイトをご覧ください。



<https://www.ntt.com/business/sdpf/>